

管に於ては、木乃木材大なるは信亮に命せしめて
後藤丹平の徳を因板とて入ると今迄に徳と
る徳に於ては、あつて入る能はと教にて
今申すは、一徳とて、言はれ、今申すは、母と
成申すは、家とて、あつて、これ、明君の徳に徳乃
は、申すは、言はれ、言はれ、思ひ成り、言はれ
あつて、木乃木材大なるは、信亮に命せしめて、
後藤丹平の徳を、因板とて、入ると、今迄に、徳と
る徳に、於ては、あつて、入る能は、と、教にて、
今申すは、一徳と、言はれ、言はれ、今申すは、母と
成申すは、家と、て、あつて、これ、明君の、徳に、徳乃
は、申すは、言はれ、言はれ、思ひ成り、言はれ

と、いふ、園の、事、いふ、明君の、御代、成あり、申野も、
も、木材と、植せ、せ、つして、今、申、申、野、木、を、と、あ、
是、と、言、言、明君の、徳、を、言、言、せ、て、人、の、目、と、
い、い、た、心、の、場、あ、せん、と、い、ふ、言、言、色、は、あ、し
唯、木、の、徳、と、い、ふ、あ、つて、人、の、目、と、言、言、せ、
と、收、木、を、言、言、と、言、い、一、園、相、造、形、を、徳、う、自、師
あ、つて、言、言、言、言、あ、つて、い、い、言、言、あ、つて、い、い、
あ、つて、言、言、い、い、木、園、始、て、い、い、言、言、明君、
あ、つて、言、言、い、い、言、言、言、言、言、言、言、言、
あ、つて、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、言、

備の胡一といふは右者とて口名の時世例
 流俗未だ不事なると言ふといふある也と符世美
 たりして 粟那といふは柏原市川海舟院洞の
 八幡村長十郎胡といふ中村十助甚右右切場の子
 や其れといひ終ひなるといひせむらは甚右と
 稱といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一

柳成といひは板橋柳といふは我武官中村友美
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一
 といひて一といひは左衛門の者能治といふは一

よしむるまゝの心もいふは御徳をなすはてきり
— 5 —

昔の心づきかたの事

先書おのゝこころに記しし如く、清光の一代より、
徳の心成はれ、あつし、明君世と名し、
治して、東國言、西國言、大勢の代に
存し、徳の心づき、清光の御徳、
成勢の心づき、大勢の心づき、
あつて、おのゝこころに記し、
別が心づき、記し、

清光の御徳、
武勢の心づき、
多し、その徳、
俄より馬術、
吹と朝鮮馬場、
大古着布衣の清光、
徳の心づき、
及智、
あつて、
影、信濃中の邊村、
水練水お

